

政府のネットワーク環境の再構築に 向けた取組の状況について



令和3年4月

内閣官房IT総合戦略室

(参考) 政府のネットワーク環境の再構築に向けた検討に関するこれまでの経緯

■ 第6回デジタル・ガバメント閣僚会議（令和元年12月20日）

- ✓ 行政運営の質の向上を図るためにも、一元的なプロジェクト管理の仕組みを活用して、政府全体のネットワーク環境の整理・再構築に向けた検討を始める必要がある旨、政府CIOから説明

■ 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策（令和2年4月20日）

- ✓ 国家公務員のテレワーク環境整備を進める旨、閣議決定

■ IT総合戦略本部・官民データ活用推進会議合同会議（令和2年4月22日web開催）

- ✓ ネットワーク環境の整備などを急ぐよう、安倍総理から指示

■ 令和2年度第1次補正予算成立（令和2年4月30日）

- ✓ 府省間のWeb会議を実現するため、Web会議サービスライセンス及びWifiルーターを調達

■ ガバメントネットワーク・キックオフ会合（令和2年5月27日web開催）

- ✓ 各府省のネットワークの統合を進め、政府全体のネットワーク環境の再構築を急ぐよう、竹本IT担当大臣から各府省に協力を要請

■ 令和2年度第2次補正予算案（令和2年5月27日）

- ✓ 各府省が共通して利用できる回線を敷設し各府省の業務端末及びLAN環境を利用した府省共通のWeb会議環境を実証 実証を踏まえ、政府のネットワーク環境の在り方の検討を進める

■ 政府重点プロジェクト「ガバメントネットワーク整備プロジェクト」指定（令和2年6月1日）

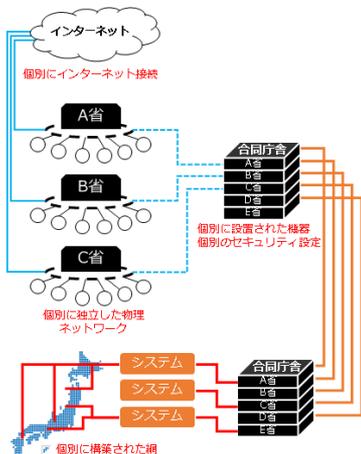
■ デジタル・ガバメント実行計画（令和2年12月25日閣議決定）

- ✓ 新たな府省間ネットワークの構築による政府共通NWの廃止、各府省のネットワーク環境の統合を原則とした検討の実施、国地方全体を通じた効率的かつ高品質なネットワーク環境の整備に必要な検討、対応を実施 等を決定

政府のネットワーク環境が抱える課題

政府のネットワーク環境は、府省単位や部局単位に整備されており、府省間連携、利便性、費用対効果の観点で課題がある。

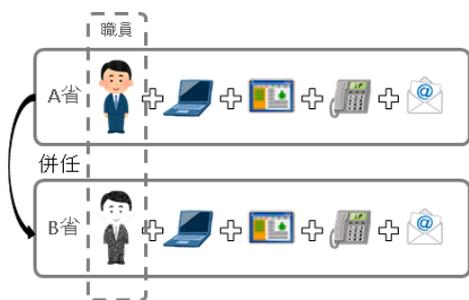
個別最適の考え方による整備



- ネットワークが府省・部局ごとに整備されている。
- Web会議のような府省共通で活用するアプリケーションであっても府省ごとに整備されている。
- 感染症拡大時や大規模災害発生時等の非常時にも、**府省間の迅速な連携が困難**
- セキュリティ水準や更改時期が異なることから**統一的なアプリケーションの導入等が困難**
- ネットワーク環境に重複が生じやすく、**費用対効果の観点で非効率**

※現行環境のまま、回線速度の個別の増速、統一的なアプリの導入等を進めても、課題の解決につながらない。

調達重複



- ネットワーク環境が異なることから、本務と併任先の両方で、PC端末、ソフトウェアライセンス、メールアカウント等を調達している。
- 併任職員は併任先では、別の端末を使う必要があるなど使い勝手が悪く、**働き方が非効率**
- 政府全体で見ると、重複調達となり、**費用対効果の観点で非効率**

個々のネットワーク環境のライフサイクルにも考慮しつつ、**中長期的な取組として、統一的な考え方に基づき、各府省のネットワーク環境の統合を進め、政府全体のネットワーク環境の再構築を加速**

ネットワーク再構築プロジェクトの展望

第1段階

各府省の既存のネットワークを接続する商用回線を導入。



府省間でのWeb会議が可能となるよう、現行と比較して広帯域かつ低コストなネットワーク環境を提供

(令和2年度)

第2段階

府省間ネットワークを抜本的に増強



現行と比較して、飛躍的に広帯域、高品質、高可用性、高セキュリティ、低コストな府省間ネットワーク環境を提供。

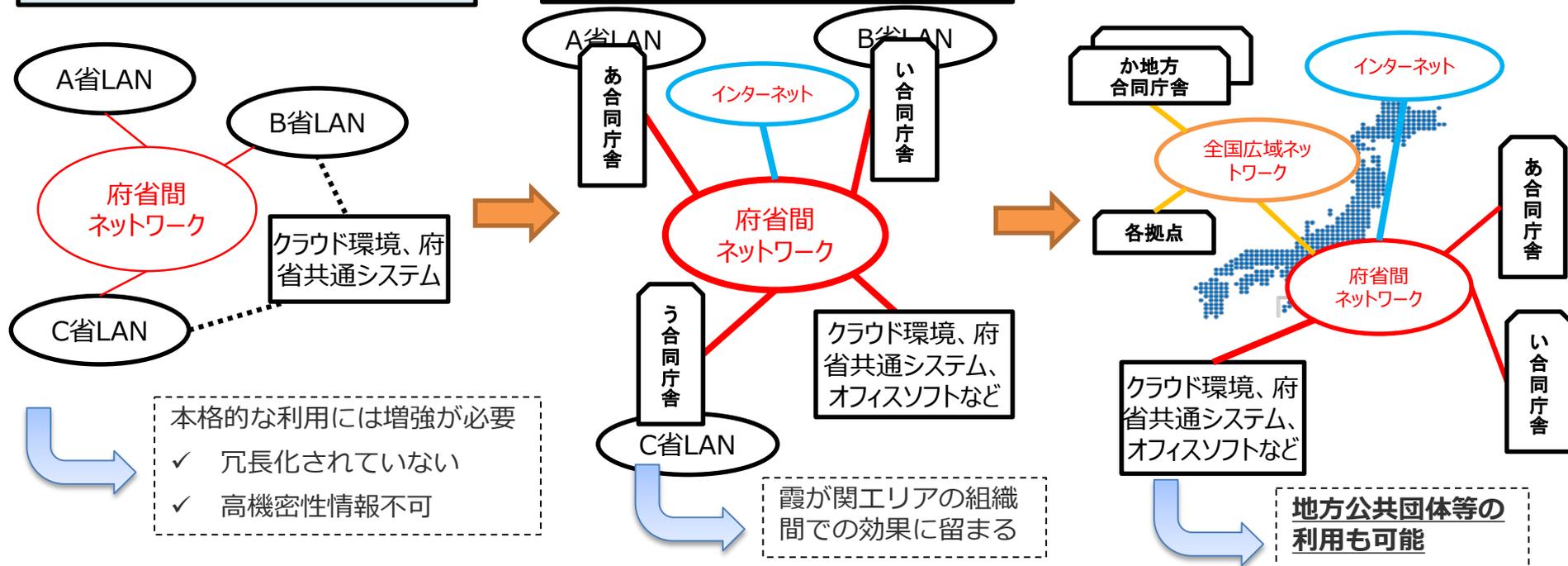
(令和3~5年度)

第3段階

日本全国のあらゆるネットワーク、を集約しつつ抜本的強化



全国レベルで第2段階の効果を展開。1拠点あたりの回線費の大幅な低下、統一的なセキュリティ監視、地域間の大量データ通信等を可能化 (令和5~7年度)



端末、コミュニケーションツール、オフィスソフト等の統合、共通化も令和4年度以降に更改する府省LANを対象に集約